

会社概要

会社名	株式会社イズミ
本社所在地	広島県広島市東区二葉の里三丁目3番1号
資本金	196億1,385万円
設立	1961年10月27日
従業員数	正社員 4,407人 パートタイマー 10,930人（1日8時間換算） ※2023年2月28日現在
店舗数	190店舗（エクセル単独店舗6店舗含む） ※2023年6月1日現在
店舗地域	広島県、岡山県、山口県、島根県、福岡県、佐賀県、 大分県、長崎県、熊本県、兵庫県、香川県、徳島県　他
事業内容	ショッピングセンター、ゼネラル・マーチャンダイジング・ ストア（GMS）、スーパーマーケット等の業態による衣料品、 住居関連品、食料品等の販売およびインポート事業
グループ会社	（株）ゆめカード（クレジット・金融事業） （株）イズミテクノ（店舗施設管理） イズミ・フード・サービス（株）（外食）　他

作成部署およびお問い合わせ先
株式会社イズミ　顧客サービス部
〒732-8555　広島県広島市東区二葉の里三丁目3番1号
TEL 082-264-3211（代）　URL https://www.izumi.co.jp/

イズミグループ
社会・環境報告書 2023
ENVIRONMENTAL SUSTAINABILITY REPORT

みなさまの「大きな夢」
地域とつながり「持続的成長」に貢献します。

イズミは創業以来、店舗を通じて「便利さ、快適さ、楽しさ」を提供するとともに
活気あふれる地域づくりに、真摯に取り組んでまいりました。
これからもみなさまの「大きな夢」に寄り添い
持続可能なコミュニティづくりに、イズミグループ全員で邁進していきます。



社会・環境報告書の作成にあたって

●編集方針
イズミでは、CSR（企業の社会的責任）に関わる取り組みを多くの方々にご理解いただくために、社会・環境報告書を作成しています。
報告項目の選定に当たっては、ステークホルダーのみなさまの関心事と、イズミが事業活動として重視している事項を考慮して取捨選択し、本書にまとめています。
内容としては、CSR活動の中心である店舗・従業員の活動をメインに取り上げています。
記事の作成に当たっては、読みやすさ、理解しやすさに配慮し、写真やグラフ、図などを積極的に取り入れています。
【最新情報について】
イズミホームページにて、最新の取り組みや詳細な情報を紹介しています。併せてご覧ください。**URL https://www.izumi.co.jp/sustainability/**

●報告書の発行
今回の発行
2023年7月（2022年3月1日～2023年2月28日の取り組み内容）
※一部、2022年3月以前、2023年3月以降の取り組みについても報告を行っています。
次回の発行予定
2024年7月（2023年3月1日～2024年2月29日の取り組み内容）
●報告書の対象
株式会社イズミの取り組みを基本として、グループ会社も一部含まれています。
●対象読者
お客さま、店舗の近隣住民のみなさま、行政、お取引先様、株主のみなさま、学生、NPO、NGO、投資家のみなさま、従業員など

contents

youme MIRAI Action …… 3
イズミグループ健康経営宣言 …… 5
2022-2023 TOPICS …… 7
トップメッセージ
株式会社イズミ 代表取締役社長 山西 泰明 …… 9
イズミの4つの夢
お客さまに笑顔あふれる場所を …… 11
地域に新風をもたらし、経済効果を …… 15
お取引先様とさらなる共存共栄を …… 21
社員がイキイキと活躍できる体制を …… 23
youme ECO ACTION 2023
CO_2排出量ゼロを目指す …… 27
お客さまと共に省資源活動 …… 29
サステナブル経営への重点項目
持続可能な社会づくりへの主要方針 …… 31
株主のみなさまとの対話を促進 …… 33
企業統治の透明性を強化 …… 34

youme MIRAI Action

希望あふれる「持続可能な未来」の実現に向けて
私たちが2050年までに目指す姿を
「youme MIRAI Action」として目標を設定。
全従業員が協力し、誠実に粘り強く
日々の業務の中でアクションしていきます。

CO_2削減

関連する目標

店舗運営に伴うCO_2排出量

2030年目標 **50**%削減 ⟹ 2050年目標 **排出実質ゼロ**

※目標・実績は2013年度比

2021年度実績 **16.1**%削減

太陽光発電で「創エネ」実践

脱炭素社会の実現に、イズミは「省エネ」と「創エネ（電気をつくる）」の両面から力を注いでいます。太陽光発電を2015年に開始。さらに2021年からはPPA「Power Purchase Agreement（電力販売契約）」モデルを導入しました。2022年オープンの「ゆめマート西条」は、当社初の再生可能エネルギー100%使用店舗として運営しています。

再生可能エネルギー100%使用店舗誕生



屋上に太陽光発電パネルを設置した「ゆめマート西条」

太陽光パネル設置店舗数 **22**店舗（2023年2月現在）

太陽光発電によるCO_2排出量削減 **2,672** t-CO_2（2022年度）

プラスチック削減

関連する目標

プラスチック製レジ袋使用量

2030年目標 **80**%削減 ⇒ 2050年目標 **100**%削減

使用するレジ袋の素材はバイオマス等へ変更

2022年度実績 **70.1**%削減

※目標・実績は2018年度比

バイオマスプラスチック25%配合のレジ袋を2021年より導入

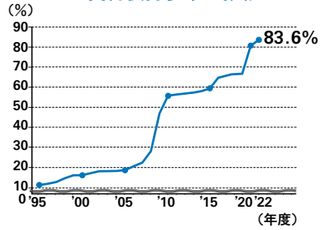


お買物袋持参運動が広がる

プラスチック製レジ袋の削減に向け、大きな力となっているのがお買物袋持参運動です。1997年から25年間の取り組みで、8割以上のお客さまにご協力いただいています。

お買物袋持参率 **83.6**%（2022年度）

お買物袋持参率の推移



カトラリーを木製・紙製に

2022年4月1日にプラスチック資源循環促進法が施行されました。2022年3月から、プラスチック製カトラリーを木製・紙製に変更。またレジでは、お申し出いただいた方だけに必要な数量をお渡ししています。



環境配慮型カトラリー

プラスチック削減効果 **17.35** t-CO_2（2022年度）

ボトルtoボトルの水平リサイクル

2022年10月13日、使用済みペットボトルを回収して新しいペットボトルに再生するボトルtoボトルの水平リサイクルを開始しました。サントリー食品インターナショナル（株）との協働で、店頭への回収機の設置を推進。さらなる資源の有効活用に取り組んでいます。



「ゆめタウン筑紫野」のペットボトル・アルミ缶回収機

導入店舗数 **17**店舗（2023年5月現在）

食品ロス削減

関連する目標

食品ロス発生量

2030年目標 **50**%削減 ⟹ 2050年目標 **80**%削減

2022年度実績 **63.6**%削減

※目標・実績は2018年度比

2021年より「てまえどり※」POPを掲示



※商品棚の手前にある、販売期限の迫った商品を選ぶ購買行動

「もぐもぐチャレンジ」全店導入へ

2021年に開始した「もぐもぐチャレンジ」は「もぐにぃシール」が貼られた賞味・消費期限間近の商品をお客さまが購入し、シールを集めるとガチャガチャができるほか、店内の「ビッグチャレンジシート」にシールを貼ると、シール1枚につき1円を「こども食堂」へ寄付ができる取り組みです。社会貢献にもつながる活動としてイズミ全店で実施しています。

「もぐにぃシール」回収枚数 **832,529**枚（2022年度）

実施店舗数 **99**店舗（2023年2月現在）



店内のビッグチャレンジシート



「こども食堂」へ寄付金を贈呈

フードドライブ拡大中

「フードドライブ」は、家庭で未利用の食品をお客さまより寄付してもらい、必要とする人に届ける活動です。家庭からの食品ロスを削減するとともに、地域の食を必要とする方を支援する活動です。2021年4月の導入以来、寄付点数は年々増加。実施店舗も増やしています。

寄贈された食品 **29,648**点 **13,053**kg（2022年度）



「ゆめマート西条」の専用コーナー

食品リサイクル

関連する目標

食品廃棄物のリサイクル率

2030年目標 **70**% ⟹ 2050年目標 **100**%

2022年度実績 **40.8**%

食料資源の有効活用を

食品ロスの削減に向け、従業員は発注精度の向上や、食品廃棄量の〝見える化〟に取り組んでいます。さらに野菜くずや廃油などをルールに沿って分類し、専門業者に委託してリサイクル。東広島市の4店舗から出た食品廃棄物は、地元の双葉三共（株）で有機肥料へと再生。食料資源の有効活用を行っています。



食品部門の廃棄物を分別管理



食品廃棄物の一覧表



Since
2023

イズミグループ 健康経営宣言

「持続可能な未来」を目指す活動の一環として、2023年に
「イズミグループ健康経営宣言」を発表しました。店舗を中心に、従業員からお客さまへ、
さらに地域のみなさまへと「健康維持・増進の輪」を意欲的に広げていきます。

心身ともに健やかな暮らしを応援

「社員が誇りと喜びを感じ、地域とお客さまの生活に貢献し続ける」という経営理念の実践に向けて「イズミグループ健康経営宣言」を発表し、2023年度より本格始動します。

中心となるのは、従業員とその家族の健康づくりを支援し、働きがいのある職場を目指すこと。さらに商品やサービスを通じて、お客さまの健康と福祉をサポート。地域のみなさまの健康づくりにも、行政と連携して取り組みます。

心身ともに健やかな「youme（夢）あふれる社会づくり」へ――全力で貢献していきます。

CHO
（健康管理最高責任者）
執行役員
沼本 真輔







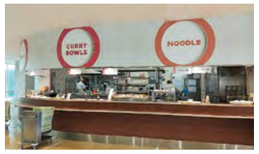


従業員

従業員に寄り添い、健康づくりを支援し、働きがいのある職場を目指します。

- **生活習慣病対策** —— 健康維持·健康増進を目指します。
- **健康診断** —— 定期健診受診率100%達成します。
- **女性の健康** —— 女性の活躍推進を健康面から支援します。
- **過重労働対策** —— 長時間労働による健康障害発生リスクを低減します。
- **メンタルヘルス対策** — 心身ともに健康で、働きやすい職場を実現します。
- **喫煙対策** —— 卒煙啓発·支援を実施し、喫煙率低下を目指します。

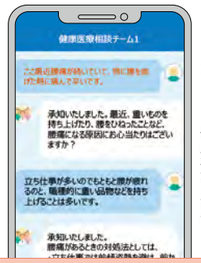

健康セミナーをZoomで配信



ヘルシーなメニューを提供する社員食堂

健康相談アプリ「HELPO」導入

2022年6月より、健康相談アプリ「HELPO」を導入しました。夜間、休日を問わず、チャットで24時間健康相談ができる点が好評です。加えて、提携先の医師にオンラインで診療を受け、薬の配送まで自宅にいながら完結できるサポートも実施しています。また、ウォーキングイベントも開催し、歩数を競うことで運動機会の提供に努めました。



チャットで健康相談が可能

ウォーキングイベントの
個人別ランキング



お客さま

**商品・サービスを通じて
お客さまの健康と福祉をサポートします。**

【商品・品ぞろえを通じての取り組み】

- 味や品質にこだわりながら、塩分·糖質の低減に取り組みます。
- 成分表示の徹底、健康サポート商品の提供を行います。
- 健康的な食生活を通して、地域の健康増進に寄与します。
- セルフメディケーションやオーラルケアを推進します。



野菜の摂取を呼び掛ける「ラブ・ベジ」を実施



健康を食でサポートする
zehi balanceの惣菜

地域のみなさま

**地域の健康寿命を延ばし
youme（夢）ある社会に貢献します。**

【店舗イベントの取り組み】

- 「ウォーキング·健康測定イベント」を実施します。
- 「献血会場·健診会場·
  ワクチン集団接種会場」を提供します。
- 行政との包括連携協定を通じて、健康体操等の
  「健康推進活動」の場所を提供します。

「ゆめタウン益田」のもぐにい体操





「ゆめタウン廿日市」の
新型コロナワクチン集団接種会場

2022-2023

TOPICS

「地域密着の姿勢を大切に、みなさまと一緒にさらなる成長を」そんな思いで取り組んできたこの1年間。私たちの願いを結実させた最新型店舗と、これまでの活動を評価された受賞について紹介します。

01 ゆめモール西条オープン

食品スーパー「ゆめマート西条」を中心に、29の専門店が駐車場を取り囲むように並ぶオープンモール形式のショッピングセンター。お客さまは目的の店舗の近くに駐車でき、ショートタイムショッピングが可能です。

東広島市には4つの大学があり、他地域に比べ若いお客さまが多いことから、ミレニアル世代やZ世代を意識した商品やイベント、空間の提供に努力。惣菜や冷凍食品などの充実を図ったほか、地産地消の推進にも力を入れています。


約1,380台の平面駐車場を整備


お子さま向け店内ツアーを開催


地元生産者さんと交流

みなさまと一緒にサステナビリティを推進

再生可能エネルギー

「ゆめマート西条」は当社初の再生可能エネルギー100%使用店舗。店舗屋上で太陽光発電を実施し、不足する電力は再生可能エネルギーを調達しています。
【詳細はp28で紹介】



従業員のSDGs研修

業務の中でサステナビリティを推進していくため、オーブンに先立って研修を実施。座学で幅広く知識を吸収し、カードゲームで楽しみながら学びを深めました。



食品ロス対策

家庭で未利用の食品を寄付していただく「フードドライブ」と、販売期限間近の商品購入につながる「もぐもぐチャレンジ」を実施しています。
【詳細はp3-4で紹介】



牡蠣パイプ再利用

養殖に欠かせない牡蠣パイプが海中に流出し、海洋プラスチックごみ問題の一因となっています。その解決につなげるため、牡蠣パイプを一部再利用した買い物かごを導入しました。



02 ふるさと企業大賞を受賞

小売業で全国初

一般財団法人地域総合整備財団（ふるさと財団）主催の「令和4年度ふるさと企業大賞（総務大臣賞）」を受賞し、2022年11月3日に表彰されました。

今回の受賞は、「ゆめタウン廿日市」が2015年のオープン以来、地域貢献に努めてきたことを評価した廿日市市の推薦がきっかけ。松本市長からは「ゆめタウンができて、廿日市市は『消滅都市』から『成長都市』へと生まれ変わり、人口が増加している」というううれしい言葉をいただきました。

イズミは今後も継続して、全店舗で地域貢献活動を推進していきます。



廿日市市の松本太郎市長（右）と山西社長

ふるさと企業大賞（総務大臣賞）とは

「ふるさと融資」を利用した民間事業者のうち、融資の対象事業が特に、地域経済および雇用や地域のイメージアップ、魅力あるふるさとづくりに貢献している事業者に対して授与されるものです。

ゆめタウン廿日市の高評価ポイント

行政・地域との連携

廿日市市とまちづくりや災害時の物資提供、避難場所の開設等を定めた包括連携協定を締結。開店以来、市民ホールや市政情報用の掲示板を設置するほか、地域住民の皆さんの交流の場にもなっています。



期日前投票所を開設


地域の特産品を集めた「吉和マルシェ」


お客さまとともにカープを応援

労働環境を整備

多数の従業員を雇用し、雇用を創出。店内の「ゆめジャングルほいくえん」で従業員と地域住民のお子さんを保育し、労働環境整備にも貢献しています。


生後2カ月からのお子さんを保育

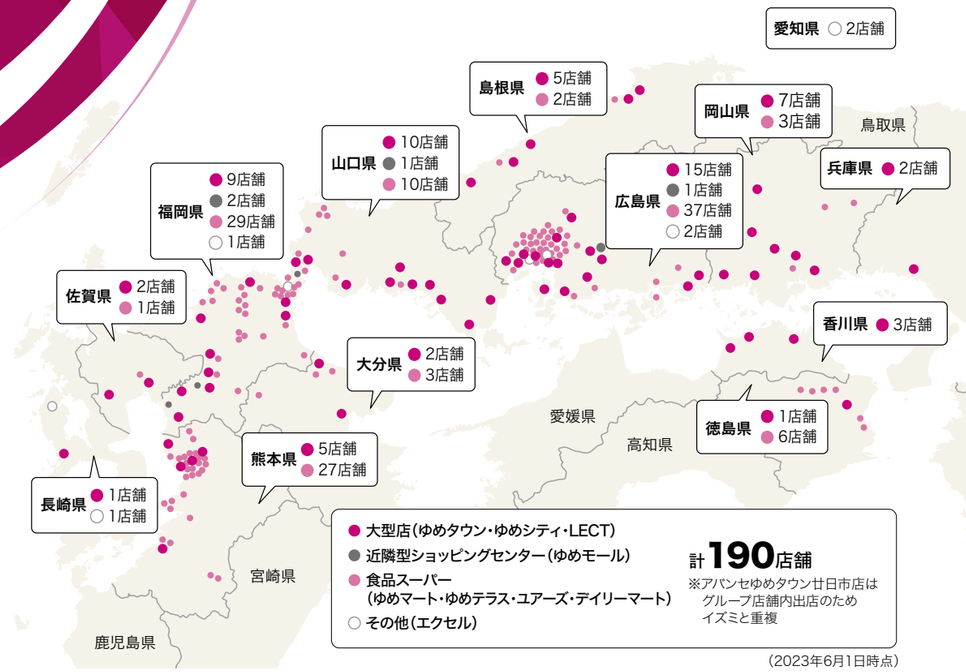
環境問題への対応

屋上の太陽光発電で、日本の家庭98世帯分に相当する電気を発電。フードロス削減、食品廃棄量の見える化など、エコ活動・SDGs活動を実施しています。


店舗屋上の太陽光発電パネル

「持続可能な未来」を目指し共創の輪を広げる





(2023年6月1日時点)

株式会社イズミ　代表取締役社長　**山西　泰明**

2022年11月、一般財団法人地域総合整備財団より「ふるさと企業大賞(総務大臣賞)」をいただきました。小売業としては全国初となる、名誉な受賞です。高く評価されたのは、「ゆめタウン廿日市」が2015年の開業以来8年間、誠実に地域貢献を続けてきた点。廿日市市の松本市長様からも「『ゆめタウン廿日市』による雇用創出や生活利便性向上により、人口が増加に転じた」と、うれしい言葉をいただきました。全従業員が「社員が誇りと喜びを感じ、地域とお客さまの生活に貢献し続ける」という経営理念を実践してきた結果だと、感慨深く思っています。

この受賞を励みに、さらに踏み込んだ地域貢献を図るため、「暮らしやすく、『人口が増えるまちづくり』への貢献」という長期目標を策定しました。出店エリアの市町とは包括連携協定を締結し、産業振興や子育て支援、防災などで協働。行政や地元企業・団体との協力関係を密にし、新店・既存店とも単なる商業施設の枠を超えて、コミュニティ機能を備えた「街の核」へと育てていきます。

2023年4月に「イズミグループ健康経営宣言」を発表。人口を増やす対策の一つとして、「健康寿命の延伸」に真正面から取り組んでいきます。イズミグループの特徴は、ほとんどの従業員が出店エリアに暮らしていること。〝従業員=お客さま〟という視点で、まずは従業員の健康づくりに注力します。お客さまには健康的な食や運動の機会を提供し、心身ともに健やかな暮らしを応援。元気な高齢者を増やし、生涯現役で活躍していただけるようサポートします。

国内でのSDGsの認知度は、今や8割を超えるといわれます。自社の利益だけを考えていては、企業に成長はありません。イズミグループでは、長年大切にしてきた「4つの夢」に沿ってSDGsに取り組みます。「お客さまに、より便利で快適な暮らしを」「地域に雇用を創出し、経済効果を」「テナント様やお取引先様にさらなる発展を」「社員に人間的成長とやりがいを」という思いを胸に、日々の業務に励んでいきます。省エネ・創エネ、リサイクル等で地球温暖化対策を進めるほか、株主のみなさまへの還元にも配慮。〝あらゆるステークホルダーのみなさま〟の「夢」に寄り添い、相互繁栄を目指していきます。

本格的なアフターコロナ時代を迎えた2023年。未来に向かう潮流が、一気に動きはじめました。これから私たちは〝社会課題の解決〟と〝企業成長〟の両面から、「持続可能な未来」を創るという壮大なミッションに挑んでいきます。今後も末長くご理解・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



お客さまに 笑顔あふれる場所を

ニーズにきめ細かく対応し、高品質な商品とサービスを提供。
より便利で快適な店づくりに力を注ぎます。











地域の生活拠点を目指す「ゆめモール西条」オープン

2022年10月27日、広島県東広島市に「ゆめモール西条」がオープンしました。「通う場所×出会う場所×憩う場所」をキーワードに、地域の生活拠点を目指します。中心店舗は当社食品スーパー「ゆめマート西条」。青果の約4割が地元産、市場直送の鮮魚を販売するなど、地域密着の品ぞろえが魅力です。中国地方初出店を含む29の専門店と共に、衣食住それぞれのゾーンで、新しいライフスタイルを提案していきます。



東広島市の髙垣市長（左から3番目）がテープカットにご参加

全店で品質管理向上

お客さまに安全で安心な食をお届けするため、品質管理を徹底。全店に「食品品質チェッカー」を配属し、表示などの勉強会を定期的に開催して意識向上に努めています。毎日午前11時と午後3時に、売場に並ぶ商品の鮮度や産地、日付などを欠かさず確認。また、インストア商品の安全を保障するため、品質管理検査室にて、日々商品の品質検査を行っています。



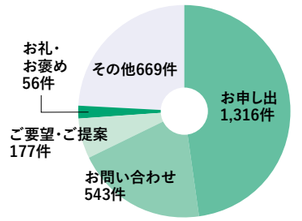
青果売場で鮮度や産地を確認


品質検査を行う、品質管理検査室

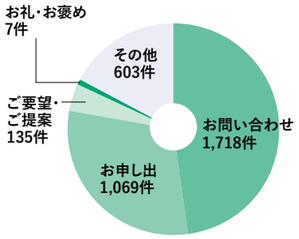
「お客さまの声」を店舗運営に反映

本社「お客さま相談室」へのフリーダイヤルや、店頭の「お客さまの声」用紙、ホームページ経由で、お客さまのご意見・ご要望をお伺いしています。皆さまの声は、店舗と本社の担当者が一つずつ検討。商品の開発や売場づくり、サービス向上に役立てています。

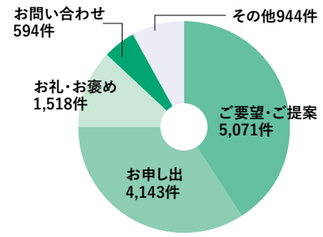
■2022年度ホームページ年間実績
合計　2,761件



■2022年度フリーダイヤル年間実績
合計　3,532件



■2022年度店舗での「お客さまの声」年間実績
合計　12,270件



「ゆめテラス祇園」2023年オープン

約半世紀にわたりご愛顧いただいた「ゆめタウン祇園」は、2021年に営業を終え、建て替え工事を実施。2023年6月に新店舗「ゆめテラス祇園」として食品売場が先行オープンしました。環境にやさしく、快適で健康な暮らしを提供するコミュニティ拠点を目指します。

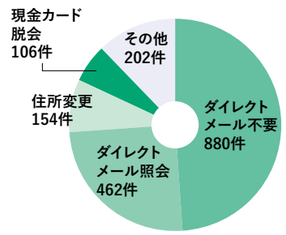

「ゆめテラス祇園」（イメージ）

個人情報保護法改正に対応した取り組みを実施

個人情報の流出事故などが増加する中、お客さまのご住所やお名前、電話番号などの慎重な取り扱いを進めています。2022年4月の個人情報保護法改正を受けて、鍵付きロッカーへの保管、管理台帳の記入など、運用ルールを全従業員で共有しました。


個人情報の管理台帳

■2022年度個人情報専用ダイヤル年間実績
合計　1,804件



お客さま
地域　夢　テナント
社員

お客さまに笑顔あふれる場所を

新ブランド「SHUCA（シュカ）」デビュー

2022年9月15日、イズミ初の女性向け新ブランド「SHUCA」がデビューしました。女性向けのベストやワンピースなどを、ゆめタウンで販売しています。ブランド開発に当たっては、（株）アダストリアと協業。同社は「グローバルワーク」や「ニコアンド」などで培ったノウハウを生かし、コンセプトや商品づくり、空間演出などの総合コンサルティングを行いました。

「SHUCA」のメインターゲットは、30～40代の女性。1枚で決まるシルエット、体型カバーもできるデザイン、コーディネートしやすいカラー展開など、ニーズに応えた品ぞろえが好評です。



（株）アダストリアが監修した「ゆめタウン広島」の売場

こだわり惣菜の自社製造ブランド「zehi」

2022年4月に、イズミグループ初の自社製造ブランド「zehi」が誕生しました。消費者のニーズや、価値観の多様化に対応するため、商品企画から製造までイズミグループで完結。惣菜やパン、生鮮加工品など「ぜひ」と胸を張っておすすめできる商品ばかりです。「プレミアム」「シーズン」「トレンド」「バランス」の4つの切り口を加え、5つのラインナップで展開しています。売上の一部は「こども食堂」に寄付し、社会貢献にも取り組んでいます。

「zehi」6つのこだわり基準

自社製造　おいしさ　安心・安全　食材　健康　SDGs



広島風お好み焼き

このまちの味になる。
youmeのDELI
zehi

カラフルなロゴが目印



夢次郎 おはぎ



5つのラインナップで展開



泉唐匠とりから揚げ

「はじめてのおかいもの」を初開催

2022年12月11日、「ゆめマート西条」で「はじめてのおかいもの」を実施。「はじめてのおかいもの」はお子さまに一人でお買物に挑戦いただくイベントです。従業員のサポートのもと、お子さまたちはメモを頼りに商品を探し、会計までを体験。お子さまたちの思い出に残る企画として、ご好評をいただきました。



店長が仕組みを説明



セルフレジで支払いも体験

子連れで利用しやすい施設へ進化

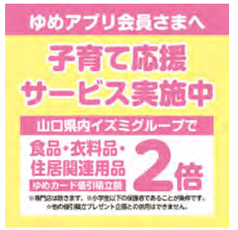
お子さまと一緒に快適に過ごせる店づくりへ、おむつ替えに便利な「赤ちゃんの部屋」、キッズトイレなどの整備に取り組んでいます。また広島県・福岡県・山口県・大分県では、内閣府が実施する「子育て支援パスポート事業」に協賛。各県内のイズミ直営売場でお買物をしていただくと、ゆめカード値引積立額2倍を付与しています。



「ゆめタウン広島」のおむつ交換ブース



「ゆめタウン東広島」の授乳スペース



イズミグループの「子育て応援サービス」告知

地元保育園児に入園・進級祝い

イズミグループ各店舗で、工夫を凝らした子育て支援を進めています。その一例が「デイリーマート羽ノ浦店」（徳島県）の取り組み。2022年5月12日、19日に、地元の保育園で入園・進級祝いの「駄菓子50円分プレゼントチラシ」を配布しました。園児総数225人の4割以上がご来店。一生懸命に駄菓子を選ぶ姿がほほえましく、保護者のみなさまにも喜んでいただきました。



デイリーマート羽ノ浦店店長（左）と、保育園の園長先生が協力

DXで創る新たな価値

多様な購買方法で利便性向上

ゆめアプリ

2021年4月の配信開始以来、カードレス決済機能が好評です。購入履歴を基にセール情報やデジタルクーポンを配信するなど、個々のニーズに合わせたサービス提供を進めています。



「ゆめアプリ」トップ画面

ゆめオンライン

「店舗連動型セレクト通販」として、日用品・化粧品といった日々のお買物から、クリスマス・おせちなど、催事オードブルのご予約や、お中元・お歳暮などのギフトまで幅広くラインナップ。また、九州食材お取り寄せなど各地域の名産品もお届けしてまいります。

「ゆめオンライン」トップページ



地域名産品をラインナップ



ゆめデリバリー

毎日の暮らしに欠かせない生鮮食料品だけでなく、暮らしに必要な日用品までお届けする、地域密着型のネットスーパー。ネットでのご注文から、最短当日ご自宅へお届けいたします。マタニティ期間からお子様が小学校に入る前までのお得な配送料金割引サービス「子育て応援パス」も好評です。



店外ロッカーで商品が受け取れる



子育て世帯には配送料金の割引サービス

ピピットセルフ

2022年10月13日に導入した新システムです。お客さまご自身のスマホ（貸し出しもあり）で商品をスキャンし、セルフレジで支払うので、レジでの待ち時間が短縮されます。今後、導入店舗を拡大する予定です。



スマホで商品をスキャン



地域に新風を もたらし、経済効果を

スポーツ・文化による地域活性化や雇用創出、
災害時のライフライン維持に努め、経済効果につなげます。







チーム一丸のプレーで社会に貢献 ハンドボール「イズミメイプルレッズ」

「イズミメイプルレッズ」は、女子ハンドボールの実業団チームです。選手たちはイズミグループの企業で働きながら、競技との両立に取り組んでいます。とちぎ国体では広島県代表として出場し、準優勝。2022年度の日本ハンドボールリーグでは5位。試合以外でも、小学生向けハンドボール教室や、清掃活動などに取り組みました。選手たちはスポーツを通じた地域活性化に向けて、日々、全力を尽くしています。



小学生にハンドボールを指導

「ファン感謝デー」にお客さまを招待

イズミは広島東洋カープのスポンサーとして、スコアボードに「youme」のロゴを掲げてチームを応援しています。2022年5月5日には「ゆめタウンスポンサードゲーム」を開催。11月23日の「カープファン感謝デー」には、ゆめタウン特別企画として抽選で10組の親子をご招待。素振りや投球フォームのチェックが大好評でした。



大型ビジョンにユーくん&メーちゃんが登場



選手たちによるトークショー



投球フォームを選手に披露

サンフレッチェ広島を応援

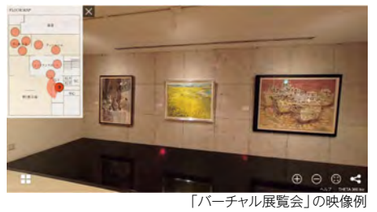
2022年6月18日、エディオンスタジアム広島で、サンフレッチェ広島vsセレッソ大阪の「ゆめタウンDAY」を開催しました。キックインセレモニーには、抽選で選ばれた3人のお子さんが登場し、スタジアムの観衆が沸きました。ハーフタイムには、イズミ商品券3,000円分のプレゼント企画も行いました。



キックインセレモニーの様子

バーチャル鑑賞に対応 泉美術館

泉美術館では、イズミ創業者・山西義政による近現代美術コレクションを収蔵。魅力的な所蔵作品を展示するほか、優れたアーティストの特別展を開催しています。展覧会の様子を、ホームページで鑑賞できる「バーチャル展覧会」も実施。遠方のお客さまにも、絵画や彫刻をじっくりとご覧いただけます。



「バーチャル展覧会」の映像例

ダイソー女子駅伝部とコラボし教室開催

2022年12月3日、「ゆめタウン東広島」でダイソー女子駅伝部（広島県東広島市）とイズミメイプルレッズのコラボイベント「走って投げて! 親子かけっこ教室＆ハンドボール体験」を開催しました。当日は合計128人の親子が参加。広島県内に本拠地を置く2チームの選手たちが、走り方やシュートの打ち方などを指導しました。



特設ゴールでシュートを体験

カードデザインで地元チームを応援

イズミグループの（株）ゆめカードは、バスケットボールの広島ドラゴンフライズ、サッカーの徳島ヴォルティスと契約を結び、両チームをイメージしたデザインのゆめカードを発行しました。いずれもサポーターの方々に好評で、地域の盛り上げに一役買っています。



広島ドラゴンフライズカード



徳島ヴォルティスカード

お客さま / 地域 / 夢 / テナント / 社員

地域に新風をもたらし、経済効果を

企業版ふるさと納税制度で7市に寄附

イズミは企業版ふるさと納税制度を利用して、店舗出店エリアの7市に寄附を行いました。

大分県別府市には、2023年2月8日に2億5千万円を寄附。山西社長は長野市長に「市が進める新しい図書館の建設や、子育て支援に役立ててください」と思いを伝えました。

寄附金贈呈先一覧

2021年	6月14日 筑後市
2022年	3月10日 宗像市／3月22日 飯塚市／5月23日 筑後市／9月15日 うきは市／12月28日 東広島市
2023年	2月8日 別府市



左から別府市の市原隆生市議会議長、当社山西社長、別府市の長野恭紘市長

G7広島サミットを盛り上げ

2023年5月19日～21日のG7広島サミットを前に、イズミは、官民一体の組織である広島サミット県民会議に協力。歓迎ムードの盛り上げや広島の魅力発信などに取り組みました。

【取り組みの一例】

- ■G7ゆめかを発行（限定3,500枚）
- ■広島サミット県民会議ブースを4店舗で出展（パネル展示、折り鶴体験など）
- ■広島商工会議所と連携した地域の清掃活動
- ■株式会社ユニクロ・株式会社ジーユーとコラボし「スポGOMI」実施（2店舗）

ここから世界へ、ここから未来へ
HIROSHIMA SUMMIT
広島サミット県民会議

広島サミット県民会議　公式ロゴ



G7ゆめか


「ゆめタウン廿日市」での広島サミット県民会議ブース



「スポGOMI」参加者のみなさん

西九州新幹線開業記念ゆめか発行

2022年9月23日、「西九州新幹線開業記念ゆめか」を発行。「地域と共に開業を盛り上げたい」と考え、カードに武雄温泉楼門や大浦天主堂をあしらいました。



佐賀と長崎の名所をあしらったカード

（株）ゆめマート熊本県のSDGs登録事業者に

イズミグループの（株）ゆめマート熊本は、2022年9月に熊本県SDGs登録制度の登録事業者になりました。地産地消の推進など、今後も地域密着型の経営に取り組みます。



登録証の交付式に参加

地域課題の解決へ 行政と協定を締結

子育て支援や産業振興、健康増進、環境保全など、地域課題の解決に協力するため、イズミは出店地域の行政との連携を進めています。災害時の物資協定や避難施設の協定も締結。地震や豪雨災害などの際は、地域社会の安全確保に向けて迅速に対応します。

飯塚市と包括連携協定を締結

（2023年2月3日）



左から飯塚市の片峯誠市長、当社山西社長

東広島市と地域活性化包括連携協定を締結（2022年10月20日）


左から当社山西社長、東広島市の髙垣廣徳市長

行政との協定一覧（2023年5月31日時点）

災害時における物資協定

県・市・町・施設名	締　結　日
香川県	2005年11月14日
福岡県	2006年 3 月28日
広島県	2006年10月 5 日
佐賀県	2006年11月27日
熊本県	2007年 1 月10日
山口県	2007年 1 月18日
島根県	2007年 3 月20日
長崎県	2007年 9 月21日
菊陽町（熊本県）	2007年 2 月 1 日
合志市（熊本県）	2007年 6 月 1 日
高松市（香川県）	2007年11月21日
防府市（山口県）	2008年 5 月22日
瀬戸内市（岡山県）	2008年 6 月 1 日
丸亀市（香川県）	2008年11月17日
宗像市（福岡県）	2009年 4 月 1 日
大牟田市（福岡県）	2009年 9 月 1 日
熊本市（熊本県）	2010年 5 月24日
大川市（福岡県）	2011年 7 月21日
藍住町（徳島県）	2011年11月21日
逸賀町（福岡県）	2011年12月 1 日
行橋市（福岡県）避難施設含む	2012年 2 月 1 日
広島市（広島県）	2012年 2 月22日
井原市（岡山県）	2012年 5 月 8 日
八女市（福岡県）	2013年 2 月 1 日
佐賀市（佐賀県）	2013年 3 月21日
うきは市（福岡県）	2013年 4 月 1 日
大竹市（広島県）	2013年 9 月25日
八代市（熊本県）	2013年 8 月 5 日
周南市（山口県）避難施設含む	2014年 3 月14日
公立玉名中央病院（熊本県玉名市）	2014年 6 月 1 日
廿日市市（広島県）	2015年 6 月 6 日
山口県警察本部（山口県）	2016年10月 1 日
三豊市（香川県）	2018年 3 月23日
赤磐市（岡山県）	2018年 9 月 1 日
下松市（山口県）	2018年10月 5 日
出雲市（島根県）	2019年11月22日
柳井市（山口県）	2020年 1 月 1 日
武雄市（佐賀県）	2021年 6 月24日
下関市（山口県）	2022年 2 月17日
益田市（島根県）	2022年 5 月25日
浜田市（島根県）	2022年 8 月25日
東広島市（広島県）	2022年10月20日

食品ロス削減に向けた協定

県名	締　結　日
徳島県	2023年 2 月21日

包括協定

県・市・大学名	締　結　日
広島県	2011年 9 月 6 日
熊本県	2011年12月20日
廿日市市（広島県）	2015年 6 月 6 日
山口県	2016年 9 月 1 日
周南市（山口県）	2016年 9 月30日
広島大学（広島県）	2017年 4 月19日
宗像市（福岡県）	2017年10月26日
岩国市（山口県）	2021年10月28日
高梁市（岡山県）	2022年 5 月20日
高松市（香川県）	2022年 5 月31日
安芸高田市（広島県）	2022年 7 月20日
藍住町（徳島県）	2022年 7 月27日
菊陽町（熊本県）	2022年 8 月18日
武雄市（佐賀県）	2022年 8 月25日
井原市（岡山県）	2022年 9 月21日
行橋市（福岡県）	2022年10月 6 日
大川市（福岡県）	2022年10月12日
東広島市（広島県）	2022年10月20日
柳井市（山口県）	2022年10月20日
八女市（福岡県）	2022年10月27日
防府市（山口県）	2022年11月11日
長崎市（長崎県）	2022年11月21日
三豊市（香川県）	2022年11月25日
江津市（島根県）	2022年12月15日
山口市（山口県）	2023年 1 月20日
飯塚市（福岡県）	2023年 2 月 3 日
呉市（広島県）	2023年 2 月24日
八代市（熊本県）	2023年 3 月16日
久留米市（福岡県）	2023年 3 月23日
熊本市（熊本県）ゆめマート熊本含む	2023年 3 月29日
筑後市（福岡県）	2023年 4 月14日
宇部市（山口県）	2023年 4 月19日
中津市（大分県）	2023年 5 月26日

避難施設の協定

県・市・町名	締　結　日
中津市（大分県）	2011年 8 月25日
藍住町（徳島県）	2011年11月21日
呉市（広島県）	2012年 2 月20日
別府市（大分県）	2012年 4 月27日
大竹市（広島県）	2012年11月27日
廿日市市（広島県）	2015年 6 月 6 日
広島市（広島県）LECTのみ対象	2017年 6 月 7 日
下松市（山口県）	2018年10月 5 日
福山市（広島県）	2019年 6 月28日
出雲市（島根県）	2019年11月22日
武雄市（佐賀県）	2021年 6 月24日
大内連合自治会（山口県）	2022年 1 月31日
益田市（島根県）	2022年 5 月25日
東広島市（広島県）	2022年10月20日
遠賀町（福岡県）	2023年 2 月15日
香川県　高松店のみ対象	2023年 3 月15日
広島市（広島県）広島店、LECT	2023年 3 月20日

DXで創る新たな価値

スマートシティの実現へ プロジェクトに参加

デジタル技術を生かした次世代都市の実現を目指す「広島大学スマートシティ共創コンソーシアム」。広島大学と行政、民間企業がノウハウや経営資源を融合させ、東広島キャンパスを中心に周辺地域で社会実装を行います。2023年2月15日に設立されたプロジェクトチームに、広島大学と東広島市、イズミを含めた民間企業10社が参画。イズミでは本コンソーシアムに参画し、産学官民一体となった取り組みに対し、市内に5店舗を展開する小売業の立場から、より便利でよりスマートなお買物を提案します。また、各店舗を地域活性化の拠点としてご活用いただけるよう取り組み、地域に貢献します。



設立セレモニーの様子



地域に新風をもたらし、経済効果を

防災・安全をテーマに「ゆめフェスタ」開催

2023年2月12日、(株)イズミテクノが指定管理者を務める「ふくやま産業交流館」で、防災・安全をテーマに「2023ゆめフェスタinビッグローズ」を開催しました。広島県・広島県警・福山市消防局・自衛隊などと連携し、緊急車両の見学会やAED体験などを実施。約7,000人の来場者のみなさまと一緒に、楽しく防災・安全を考える機会になりました。



広島県警察音楽隊による演奏会


多くの親子でにぎわう会場

「ゆめタウン徳島」スイーツフェスタ

「ゆめタウン徳島」では毎年、春と秋の年2回、徳島県菓子工業組合と連携してスイーツフェスタを開催しています。2022年秋は10月8～10日に開催。県内の和洋菓子店が約20店舗出店し、「秋の収穫祭とハロウィン」をテーマに工夫を凝らしたお菓子を販売しました。「県内各地のお菓子が一カ所で買えてうれしい」「食べ比べができて楽しい」と、連日売場は多くのお客さまでにぎわいました。


色とりどりのお菓子が勢ぞろい

毛利元就入城500年記念イベント開催

2023年は、戦国武将・毛利元就が郡山城(広島県安芸高田市吉田町)に入城して500年の記念の年です。2022年10月10日には、「毛利元就入城500年カウントダウン・スタートイベント」が「ゆめタウン吉田」で開催されました。オブジェ除幕式には安芸高田市の石丸伸二市長が臨席。地元高校生による書道パフォーマンスや、神楽上演で盛り上がりました。



カウントダウンのオブジェ除幕式

店内を吹奏楽部がパレード

2022年10月29・30日に、「ゆめタウン出雲」で「出雲ドーム2000人の吹奏楽」プレイベントを開催。地元高校の吹奏楽部が店内をパレードし、お買物中のお客さまに演奏を披露しました。


店内に響き渡る息のあった演奏

地域安全運動イベント開催

2022年10月16日、「ゆめタウン高梁」は高梁警察署交通課と連携して、地域安全運動イベントを開催。地元高校生による書道パフォーマンスや、白バイとパトカーの試乗体験などを実施しました。


大迫力の書道パフォーマンス

「フェムテック」イベント初開催

2023年3月4・5日、「ゆめタウン廿日市」で「フェムテックジャパン2023／フェムケアジャパン2023 in HIROSHIMA」を初開催しました。フェムテックとは、テクノロジーで女性特有の健康課題解決を図る取り組みです。店頭では、肌に優しい生理用ナプキンなどのブースを展開。店内の市民ホールで、月経や腸活に関する講演も実施しました。


講演会の様子


多数の企業・団体が出展

新潟の中学生が食品ロスを学習

2023年2月20日、新潟市立高志中等教育学校の生徒4人が、修学旅行の一環でイズミ本社を訪問しました。学習テーマは「イズミが行っている食品ロスの取り組みについて」。担当の従業員が「もぐもぐチャレンジ」「フードドライブ」(詳細はp3-4を参照)などについて説明した後、「ゆめマート二葉の里」を案内。青果売場などを巡り、実際の取り組みを見ながら、理解を深めていただきました。


規格外野菜の売場を案内

駐車場で「みこしの練り」

2022年10月9・10日、「ゆめタウン姫路」の駐車場で地元自治会による「みこしの練り(行列)」が行われました。夜には2つの自治体のみこしが練り合わせ。3年ぶりの開催とあって、多くのお客さまが勇壮な練りを一目見ようと集まりました。



店舗のすぐそばで練る豪華なみこし

献血への貢献で名誉の受賞

2022年11月16日、福岡県と日本赤十字社福岡県支部が主催する献血功労者表彰式で、「ゆめタウン行橋」が支部長感謝状銀枠を受賞しました。受賞理由は、長年、移動献血バスにスペースを提供してきたこと。今後も献血不足解消への貢献を続けていきます。



表彰式の様子

くまもと県産酒消費拡大図る

熊本県内のイズミグループ店舗「ゆめタウン」「ゆめマート」では、2022年9月17日～2023年1月24日に、「くまもと県産酒を飲もう! キャンペーン」を実施しました。対象商品の購入者には、抽選で蔵元厳選のお酒や特産品をプレゼント。コロナ禍で酒の需要が減少する中、地元の酒造会社と協力して消費拡大を図りました。


特設売場で地元の酒をアピール



お取引先様と さらなる共存共栄を

共同での販促実施や、テナント様の採用活動支援などを実施し 一緒にさらなる発展を目指していきます。



「studio CLIP」FC 第1号店 「ゆめタウン行橋」にオープン

2022年9月27日、イズミは株式会社アダストリアと「業務提携及び商品売買等に関する基本契約」を締結しました。この提携に基づき、同社が展開するライフスタイルブランド「studio CLIP」をFC形式で運営していきます。

第1号店は2023年4月6日、「ゆめタウン行橋」にオープンしました。約170㎡に、衣料品やインテリア雑貨、キッチンウェアなどがずらり。毎日の暮らしに寄り添う商品が評判を呼び、連日、多くのお客さまが来店されています。



ナチュラルな雑貨や衣料がずらり

「3COINS＋plus」をFC形式で運営

2021年にイズミは株式会社パルと業務提携を結び、「3COINS+plus」をFC形式で展開しています。生活雑貨やインテリア雑貨、モバイルアイテムなど、300円を中心とした商品は、手頃な価格とセンスの良さが特徴。「ゆめタウン夢彩都」や「ゆめタウン下松」をはじめ、現在展開している8店舗（2023年5月末現在）はいずれも好調です。



「ゆめタウン丸亀」2022年4月オープン

メガネブランド「OWNDAYS」FC展開

2022年12月3日、イズミグループの（株）ウオッチ･ビジネス･カンパニーが運営する時計店「TIME　TIME八女店」が「OWNDAYS TIME TIMEゆめタウン八女店」としてリニューアルオープンしました。機能性とデザイン性を兼ね備えたメガネブランド「OWNDAYS」のFC展開を進め、店舗の魅力アップを図ります。



時計とメガネを取り扱う店舗

視覚障がい者支援へチャリティ募金

中国放送と九州朝日放送、西日本放送と共同で、視覚障がい者のみなさまを支援する「ラジオ･チャリティ･ミュージックソン」を開催しました。2022年12月24･25日に各地の「ゆめタウン」から生放送を実施。募金活動は2022年11月～2023年1月に行い、多くのお客さまがご協力くださいました。



店内での生放送の様子

「イズミ会」総会を開催

1975年に発足した「イズミ会」は、お取引先様とイズミの絆を深め、共努共栄を目指す会です。

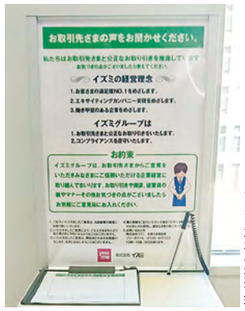
2023年5月には総会を開催し、イズミから経営方針や行為計画などを報告。さらに、持続可能な調達方針の説明と、コミュニケーションを図るためのCSR調達セルフ･アセスメント質問表回答へのご協力をお願いしました。

今後もイズミは社会的責任を果たすため、お取引先様と協力して取り組んでいきます。


広島市内のホテルで開催された総会

本社に投書箱を設置 公正な取引を進める

コンプライアンス経営の一環として公正な取引を進めるため、本社に投書箱を設置。商談やお取引に関することはもちろん、従業員のマナーなどに率直なご意見をいただき、業務改善につなげています。



イズミ本社の投書箱

テナント様の採用を 店頭とWebで支援

テナント様の採用支援として、Webに求人情報を掲載。店頭では「お仕事相談会」を開催し、お仕事を探している地域のみなさまとテナント様のマッチングに取り組んでいます。


店頭ブースで業務内容紹介



社員がイキイキと活躍できる体制を

多様なバックグラウンドを持った従業員が、個々の事情に応じて柔軟に働き方を選択でき、自分らしく活躍できる環境を目指します。





令和2年度入社式を開催 3年目で初めて同期が集合

2023年2月24日、3年間延期していた令和2年度入社式を、ヒルトン広島で開催しました。2020年春に入社して以来、初めて同期全員が集合。上司や仲間からのサプライズムービーも会場で上映され、絆を深める機会になりました。4年目に向けての決意表明では、「入社当初はコロナ禍により多くの研修が中止になり、不安だった。これからは横のつながりを深め、同期が一丸となって切磋琢磨していく」と力強く飛躍を誓いました。



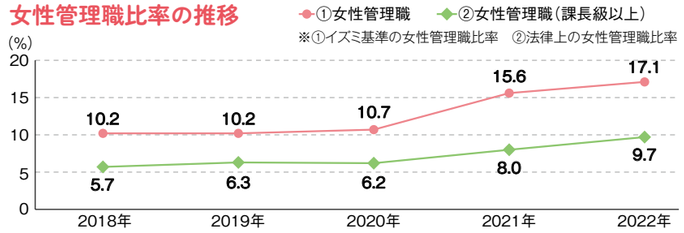
山西社長が一人ひとりを力強く激励

「ゆめ Can プロジェクト」で女性管理職増加

多様なバックグラウンドを持つ社員一人ひとりが能力を最大限発揮し、活躍できる会社を目指して、イズミは2014年から「ゆめCanプロジェクト」（女性活躍推進プロジェクト）を進めています。キャリアアップ支援などにより、店長や次長になる女性社員は着実に増加。地道な取り組みが評価され、女性活躍推進優秀企業認定「えるぼし」の最高位〝3段階目〟を取得しました。


食品部門の女性正社員向けミーティング

女性管理職比率の推移




主任向け研修で「ゆめCanプロジェクト」を紹介

子育てや介護と仕事の両立を支援

イズミは1995年から「ポジティブアクション」に取り組み、子育てや介護と仕事の両立を支援。子どもが小学3年生終了まで時短勤務ができるなど、制度を拡充してきました。全従業員に周知を図るため、「パパママ応援BOOK」を作成し、WEBで公開しています。企業主導型保育園は「ゆめタウン光の森」「ゆめタウン廿日市」の2店舗に開設。土·日曜、祝日も保育を行っています。



社員向けポータルサイトで閲覧できる「パパママ応援BOOK」


「ゆめタウン廿日市」の「ゆめジャングルほいくえん」

育児休業制度の充実を図っています

妊娠中
- 短縮勤務 …… 通常勤務より最大3時間短縮できます。

出産前後
- 産前・産後休暇 …… 6週間の産前休暇、8週間の産後休暇が取得できます。

子どもが3歳未満
- 育児休業：社会保険料免除、一旦、復帰しても再休業可。

子どもが小学校3年生終了まで
- 育児短縮勤務 …… 通常勤務より最大3時間短縮できます。
- 看護休暇制度 …… 負傷または疾病の子どもの世話のための休暇制度。子ども1人につき10日まで。
- 休日保育・病児保育の補助 …… 休日保育·病児保育を利用した場合は、利用料が半額補助されます。

各種制度を拡充
- 不妊治療休職：最長1年間休職することができます。
- 失効積立有給休暇：積み立てた失効積立有給休暇は、介護や不妊治療にも利用できます。

復職後も定期的に面談を実施し、キャリア支援を行っています。

男性育休の取得者が増加

育児·介護休業法により、2022年10月に「産後パパ育休」が施行されました。イズミ独自の「出産立会い休暇」「夫婦で子育て休暇」と合わせ、取得者が増加。これを機に「仕事も子育ても、男女共同で進める」という意識をさらに浸透させます。

出産立会い休暇
配偶者の出産予定日を含む前後2日間特別休暇取得可能。

夫婦で子育て休暇
配偶者が出産した際、子どもの出生後8週間以内に、連続した3日間の特別休暇取得。

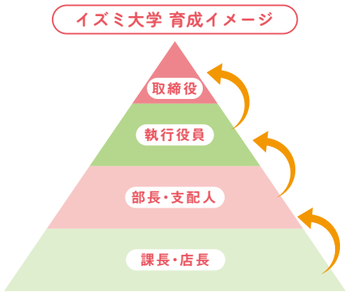

育休を取得した男性社員

お客さま / 地域 / 夢 / テナント / 社員

社員がイキイキと活躍できる体制を

「イズミ大学」で経営者育成

次世代の成長を担う経営人材の候補を選抜し、社外・社内研修を通して計画的に育成しています。経営に必須のさまざまな知識を習得し、ケーススタディで経営を深く考え、視座を高め・視点を増やすべく学んでいます。



コンテストを技能向上の契機に

2022年10月、従業員の意欲と技術の向上を目的に、食品本部・ライフスタイル部・生活雑貨部の「陳列コンテスト」と、惣菜事業部の「技術コンテスト」を開催しました。優れた事例は全社に紹介し、全店でよりよい売場・商品づくりを進めています。


加工食品売場1位の「ゆめタウンみゆき」

自己申告制度・社内公募制度でキャリア形成

従業員が能力と意欲を発揮できる職場づくりに力を入れています。年2回、各自が仕事状況を振り返り、将来進みたいキャリアを見極めて、会社に申告する自己申告制度や意思・能力を持った社員と部署のマッチングを行う社内公募制度により、適材適所の人事登用と社員のキャリア自立、安心して働ける環境整備を推進しています。


キャリアアップへ経験を積む従業員

創業61周年記念 SDGs検定

2022年10~11月に、創業61周年を記念してSDGs検定を実施しました。約600人が参加し、上位30人には賞品を授与。環境や貧困、人権などに関する正確な知識の周知を図り、SDGs活動への理解・関心を高める契機になりました。


社内報で正解を発表

次長任用研修が〝自ら学ぶ〟機会に

次長任用研修は営業スキルやコンプライアンスなどが学べるオンライン講座です。2022年9月に制度を変更し、次長に昇格した人だけでなく、管理職を目指す人は誰でも受講できるようになりました。〝自ら学ぶ〟機会として活用されています。イズミでは他にも多数の研修を実施し、広く参加を呼びかけています。



各種研修を紹介する「教育ガイド」

汗と涙の「ゆめ感動物語」

従業員が自発的に行動し、その結果を自分の言葉で発表することを大事にしています。パートナー社員による事例発表会「ゆめ感動物語」では、各自が取り組んだ事例を全社に向けて発信。これまで50回開催された発表会には、のべ2,589人が参加。2022年11月7日の第50回大会には、7人が店舗を代表して参加しました。すぐれた取り組みは、店舗運営に反映されています。


第50回大会参加者の皆さん

内定式・入社式をリアル開催

2022年10月1日、イズミ本社で内定式を実施。SVやバイヤーが各部門の紹介を行い、翌春の入社に向けた準備を行いました。2023年3月31日には、4年ぶりに合同の入社式をリアル開催。イズミグループ7社の新入社員181人が集結し、飛躍を誓いました。会場には家族も出席し、オンラインと合わせて100人が門出の時を見守りました。


イズミ本社での内定式


入社式で決意表明

「カイゼン報告会」で好事例発表

「カイゼン活動」は、業務のムリ・ムダ・ムラをなくすために非常に重要な取り組みです。各店舗が工夫を凝らして実践した事例の中から、特に効果的なものは「カイゼン報告会」で発表。オンラインで全店をつなぎ、思いを一つに業務効率化を進めています。


オンラインで事例を共有

定年再雇用制度でベテランが活躍

イズミでは「高年齢者雇用安定法」に沿って、「定年再雇用制度」を導入しています。本人が希望する場合、満60歳に達した正社員・パートナー社員は、65歳まで再雇用されます。パートナー社員の時給据え置き制度や、評価に応じた昇給制度などの制度を整備。ベテラン社員の意欲を応援しています。

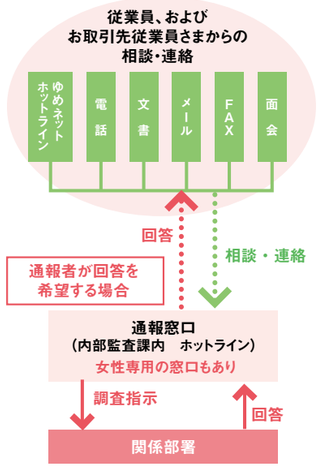
1 本人が希望すれば、誰でも**安心して65歳まで勤務**することができます。

2 定年前までのみなさんの頑張りを生かすため、パートナー社員の**時給は据え置きます。**

3 定年後も**評価に応じた昇給**を行うので、意欲が高く保たれます!（正社員・パートナー社員共通）

相談窓口を社内に設置

従業員やお取引先従業員さまの相談に対応する「イズミホットライン」を社内に設置。風通しがよく、声が上げやすい職場風土の醸成に努めています。



DXで創る新たな価値

多機能端末で生産性向上

2023年2月、業務効率を飛躍的に向上させる多機能端末が全店に導入されました。発注、集計、勤怠管理、オンライン会議など、8つの機能を1台に集約。移動時間などのムダを省き、余剰時間は顧客サービスの向上と従業員の教育に利用します。また、多機能端末では、動画マニュアルを視聴することもでき、特に人材育成を強化していきます。


画面タッチでカンタン発注


各種動画マニュアルを視聴可能

2023

youme eco ACTION

よりよい未来を次世代につなげるため、お客さま・地域とともに環境保全活動を進めています。
これからも店舗を核として、持続可能な社会の実現へ、粘り強くエコ・アクションを続けていきます。

省エネ・創エネを推進 CO_2排出量ゼロを目指す

従業員による省エネ活動

AIが省エネ行動をアドバイス

2021年から店舗への導入を開始した「エナッジ®」。省エネ行動をAIが教えてくれる仕組みです。従業員は出勤したら、タブレットで3つの省エネ行動をチェック。「作業室のエアコンは、退出時に必ず止める」といった活動を習慣化し、電力消費量の削減に効果を上げています。

CO_2削減　啓発活動



省エネ行動がタブレットに表示される


出勤時のチェックを習慣化しています

冷気漏れカバーを設置

CO_2削減

冷蔵ショーケースには冷気漏れカバーを設置し、閉店時にはカバーをかけることで冷気の漏れを防止。また効率よく冷えるよう、冷気の吹き出し口の清掃を業務の中で行っています。一人ひとりが省エネ活動を心がけて取り組んでいます。


冷気の吹き出し口は常に清潔に


閉店時にカバーを下ろす

屋上看板を20時以降消灯

CO_2削減

2022年4月1日より、イズミグループ全店で「ライトオフプロジェクト」を実施しています。店舗塔屋（屋上看板）の照明は20時以降消灯。開店後1時間、閉店前1時間の屋内照明も20%消灯しています。夏季には空調の設定温度を1℃上げるといった、従業員による省エネ活動を強化し、電力使用量の削減に努めています。


屋上看板を消した「ゆめタウン広島」

店内でも一部照明を消灯

CO_2削減　啓発活動

お客さまの安全や、商品の品質管理に配慮の上、店内の一部照明を消灯しています。お客さまにもご協力いただき、節電することで、CO_2排出量削減を実施しています。



一部消灯をお知らせ



ポスターでお客さまに協力をよびかけ

再エネ100%使用店舗「ゆめマート西条」

2022年10月27日にオープンした「ゆめマート西条」は、使用電力の100%を再生可能エネルギーでまかなう、イズミグループ初の店舗です。店舗屋上に設置したパネルで太陽光発電を行い、その電力を自家消費。太陽光発電で足りない電力については、中国電力株式会社より再生可能エネルギーを調達します。今後も再エネ100%使用店舗を増やし、脱炭素社会の実現に貢献していきます。

CO_2削減　再エネ


屋上に設置された太陽光パネルで発電する「ゆめマート西条」

冷蔵・冷凍ケースで省エネ

CO_2削減

冷蔵・冷凍ショーケースは売場に欠かせない設備です。全店に「インバーターシステム」を導入し、自動で消費エネルギーを削減しています。



縦型の冷凍ショーケース


省エネ機器

EVの充電スポット増加

CO_2削減

18店舗に設置

排気ガスを出さないEV（電気自動車）は、環境配慮型車両とされています。普及を推進するには、充電スポットの拡充が欠かせません。イズミでは「ゆめタウン光の森」「ゆめタウン高松」「ゆめタウン廿日市」「ゆめタウン広島」「LECT」「ゆめモール西条」などに設置。今後も増設予定です。


EVユーザーに好評な充電スポット

植物由来のレジ袋に転換

CO_2削減

全店の食品・衣料品部門で、植物由来のポリエチレン「バイオマスプラスチック」を25%配合した、環境に優しいレジ袋に切り替えました。新タイプのレジ袋は、石油資源の使用量が少なく、CO_2排出量の削減にも有効です。


BPのロゴが目印

CO_2排出量 年間削減見込み 283.5t

電気式空調設備で温室効果ガス半減

CO_2削減

店舗リニューアルなどの際に、従来型の重油式空調設備から、電気式空調設備への切り替えを進めています。電気式空調設備の導入により、温室効果ガスのCO_2排出量を約半分に抑え、地球温暖化防止に貢献します。


従来型の重油式空調設備


環境に優しい電気式空調設備

循環型社会の構築へ お客さまと共に省資源活動

店頭で牛乳パックや食品トレーを回収

リサイクル

ゴミの減量化・再資源化を促進するため、全店の店頭に設置しているのが回収ボックスです。お買物の際に牛乳パックや食品トレー、アルミ缶、ペットボトルなどをご持参くださるお客さまが年々増えています。回収した資源はリサイクルを行い、有効活用しています。

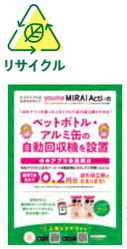


種類ごとに分かれた回収ボックス

ボトルtoボトルの回収開始

リサイクル

2022年より一部店舗では、ボトルtoボトルの取り組みを開始しました。回収されたペットボトルは専門業者でリサイクルされ、再びペットボトルとなります。ゆめアプリ会員さまには、1本あたり0.2円の値引積立額を差し上げます。この取り組みを通じて、地域のみなさまとともに資源循環社会の構築を目指します。



店頭での告知ポスター


「ゆめタウン筑紫野」の回収機

資源循環イメージ



古新聞や古雑誌などを回収

リサイクル

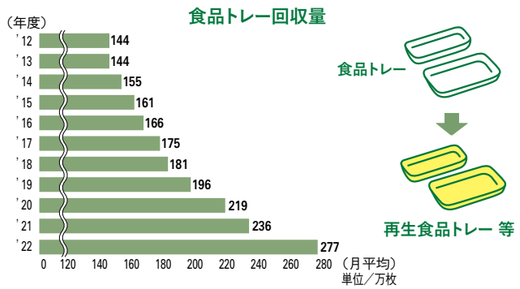
75店舗に設置

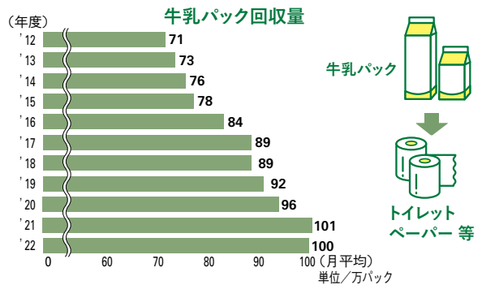
「エコ・ステ」は、持ち込んだ古紙の重量に応じてポイントを付与し、そのポイントをお買物にご利用いただけるシステムです。回収対象品は、古新聞や古雑誌など。現在75店舗（2023年5月現在）に設置され、今後も拡大していく予定です。

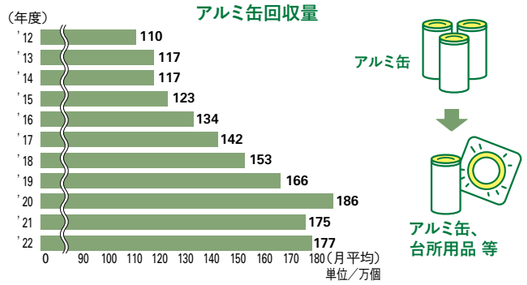
※「エコ・ステ」とは、「エコ・ステーション」の略です

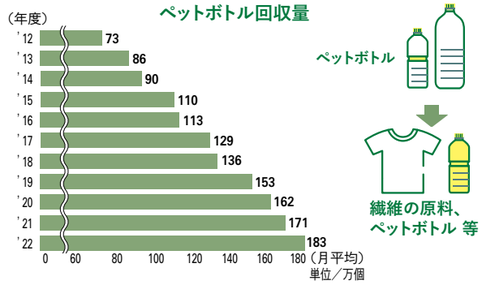

古紙を回収するボックス

店頭での容器回収量









トレー回収イベント開催

啓発活動　リサイクル

2022年6月11日・12日、LECTでトレーリサイクルの啓発イベントを行いました。日本財団の「瀬戸内オーシャンズX」および「海洋ごみ問題ジブンゴト化プロジェクトin広島」と連携し、海洋プラスチック問題などをパネルで紹介。2日間で約300名が来場され、会場の特設回収BOXには、約4kgのトレーが集まりました。


マスコミにも注目され、テレビ取材を受けました

衣料品回収「服の縁結び」

省資源　リユース

衣料品を回収する「服の縁結び」プロジェクトを、定期的に開催しています。不要になった衣料品を最大5点までお引き取りし、500円クーポン券を3枚進呈。回収品はリユースを行い、資源循環を促進しています。



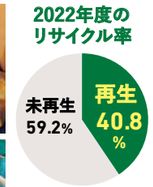
特設コーナーで回収を実施

食品廃棄物を有効活用

リサイクル　再エネ

廃棄物を焼却処分すると、二酸化炭素が排出され、地球温暖化を加速させてしまいます。店舗から出る食品廃棄物は、分別管理を徹底し、資源として有効活用。九州では、廃油をバイオディーゼル燃料に再生しています。東広島市の4店舗では、地元の双葉三共株式会社様と連携し、調理くずや食べ残しなどを有機肥料にしています。


燃やせるゴミと野菜くずを分別



フードロス削減ポスター募集

啓発活動

2022年10月1日～11月20日に、「第2回フードロス削減ポスター」のデザインを募集しました。今回のテーマの「てまえどり」とは、すぐに食べる商品であれば、棚の手前にある販売期限の迫った商品を選ぶ活動です。多数の小中高校生が、「てまえどり」の実践を呼び掛けるポスターを応募してくれました。



最優秀賞の作品

いつもの買物で環境保全「BE+CAUS」

ビーコーズ

啓発活動

2023年2月1日～28日、イズミはソーシャルアクションプラットフォーム「BE+CAUS」のキャンペーンに参加しました。対象商品購入金額の一部を、循環型農業を推進するNPO法人に寄付。また抽選で選ばれたお客さまを、農業体験にご招待し、さらにご家庭で生ゴミから堆肥が作れるコンポストをプレゼントしました。


レタスの収穫体験

制服をリサイクル保冷エコバッグに

省資源　リサイクル

2021年に続き、2022年も制服をリサイクルしてエコバッグに再生しました。原料は白衣やパンツなどの制服。制服をリサイクルしてできたポリエステル原料から保冷機能付きエコバッグを仕立てました。抽選で5,000名のお客さまにプレゼントし、レジ袋削減にもつなげています。


制服をエコバッグに再生

宮島海岸清掃に約50人が参加

環境美化

SDGs研修に力を入れている「ゆめマート西条」。オープンを目前に控えた2022年10月6日、従業員約50名が、宮島　包ヶ浦自然公園を清掃しました。海岸に落ちているプラスチックゴミを中心に、40.3kgのゴミを回収。環境保全への思いを新たにしました。


砂浜で丁寧にゴミ拾い

持続可能な社会づくりへの主要方針

環境・人権への配慮に全社で取り組みます。

イズミグループ経営理念

社員が誇りと喜びを感じ、地域とお客さまの生活に貢献し続ける。

1 サステナビリティ基本方針

1 未来を見据えた長期ビジョンを策定し、事業を通じて社会課題の解決に取り組みます。
2 すべてのステークホルダーと良好な信頼関係を築き、対話を通じて、共に社会に対して責任を果たします。
3 地域とともに発展するため、地域に根ざした活動に取り組み、より良い生活環境を維持・向上させる活動を通して、長期的な価値を提供します。

【マテリアリティ（重点課題）】

マテリアリティ		取り組み内容
地域 お客さま	地域、お客さまとともに 豊かな暮らしをつくる	■お客さまにとって便利なお買物方法の提供（生鮮デリバリー拡大） ■高齢者や単身者などさまざまなお客さまに配慮した商品、サービスの提供 ■包括協定や災害時の物資供給に関する協定を締結 ■地域のお客さまが集う場所の提供
環境	脱炭素社会の実現と 資源の有効活用をする	■CO_2排出量削減 ■プラスチック製容器包装削減、資源の有効活用 ■食品廃棄物、店舗から排出される廃棄物の削減 ■食品リサイクルの実施
安全・安心	安全・安心の提供と 商品・サービスを 通じた価値をつくる	■衛生管理の徹底 ■健康に配慮した商品、アレルギー対応商品の取り扱い拡大 ■水産物、農産物の持続可能な調達
ダイバーシティ	多様な人材が活躍できる 環境を整備する	■女性の管理職比率、障がい者雇用率のアップ ■ジェンダー平等、若者、高齢者等の活躍支援 ■ライフステージにあった労働環境の整備

【長期ビジョン】

目指す姿	具体的な取り組み	2030年の目標	2050年の目指す姿
脱炭素社会	CO_2排出量削減	店舗運営に伴うCO_2排出量 50%削減（2013年度比）	店舗運営に伴う排出量実質ゼロ
		自社の排出量（スコープ1※1、スコープ2※2）のみならず、スコープ3※3を含めたサプライチェーン全体で削減をする	
資源循環社会	プラスチック対策	プラスチック製レジ袋の 使用量を80%削減（2018年度比） 使用するレジ袋の素材は、 バイオマス等へ変更	プラスチック製レジ袋の使用量ゼロ
	食品ロス・ 食品リサイクル対策	食品ロスを50%削減（2018年度比）	食品ロスを80%削減（2018年度比）
		食品廃棄物のリサイクル率70%	食品廃棄物のリサイクル率100%
自然共生社会	生物多様性の保全	サステナブルな商品の取り扱いを拡大し、エシカル消費を推進する	

※1:直接排出量　※2:間接排出量　※3:その他の間接排出量

2 調達方針

「社員が誇りと喜びを感じ、地域とお客さまの生活に貢献し続ける」企業であるために、役員・社員やお取引先様を含む全てのビジネスパートナーと共に商品の製造過程における社会的責任を果たすため、「調達方針」を定めます。
加えて、本方針が定める遵守すべき事項について、イズミグループの商品に関わるお取引先様と協力して取り組んでまいります。

1 安全・安心な商品の供給
2 法令等の遵守
3 人権の尊重
4 労働環境の整備
5 公正な取引
6 情報の保護
7 環境の保護
8 地域コミュニティへの貢献
9 実践のための仕組みの構築・運用

3 人権方針

1 基本的な考え方

イズミグループは、人種・民族・国籍・宗教・思想・信条・性別・年齢・身体的特徴・性自認・性的指向などによる差別を行わず、あらゆる人々の人格と個性を尊び、人権を尊重します。

2 適用範囲

「イズミグループ人権方針」は、イズミグループの全役員および全社員に適用されます。またお取引先様を含むビジネスパートナーや関係者において、人権に対する負の影響が明らかになった場合、そのビジネスパートナーや関係者に対し、人権を侵害しないよう求めます。

3 人権デューデリジェンスの実施
4 救済措置
5 ステークホルダーとの対話
6 教育・啓蒙活動
7 情報開示
8 重点課題 ■個人の権利の尊重 ■労働者の権利の尊重

4 ダイバーシティ&インクルージョン方針

イズミグループは、経営理念において「社員が誇りと喜びを感じ、地域とお客さまの生活に貢献し続ける」企業でありたいと考えています。人種、国籍、年齢、性別、性的指向・性自認、宗教、信条、文化、障がい、キャリア、ライフスタイルなどにかかわらず、多様なバックグランドを持つ社員が互いに尊重し合い、情報・機会においてすべての人に公平な扱いが保証され、能力や個性を発揮し、働くことを通じてやりがいや成長を感じられる組織であることが、競争力の源泉であると位置づけています。

5 気候変動対応方針

近年、地球温暖化が進み、多発する豪雨、台風の大型化などの異常気象を最小限にとどめるため、イズミは気候変動問題に対して取り組みを行います。地球温暖化はイズミが事業を行う地域でも大いに影響があり、もはや他人事ではなく、かけがえのない唯一無二の地球において持続的に生活を続けることができるよう、私たちは、事業を通じて環境問題解決に取り組み、よりよい未来を次世代につなげます。

1 脱炭素社会への貢献

省エネ化・再生可能エネルギーへの切り替えを実施し、CO_2排出量削減を図ります。

2 循環型社会への対応

お客さま、お取引先様とともに、プラスチック、食品などに代表される廃棄物の排出の抑制に努め、廃棄物となったものに対してはリサイクルに取り組み、限られた資源を有効に活用します。
また廃棄物については、不適正処理を行いません。

3 環境に対する意識の向上

脱炭素社会の実現に向け、従業員一人ひとりの意識改革に努めます。

CDPの環境評価で「B」認定

国際NGOであるCDPは、世界の主要企業の環境活動に関する情報を収集・分析し、8段階評価を行っています。当社は2022年度の気候変動に関する質問書のスコアリングで上位から3番目の「B」評価を獲得しました。

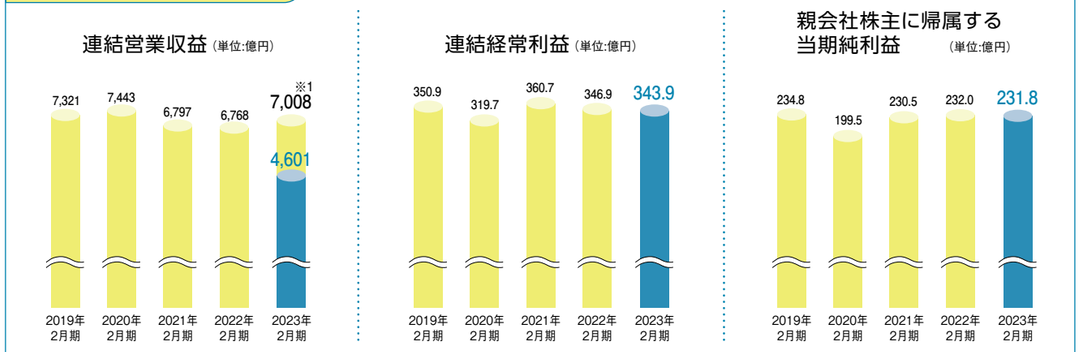
TCFDへの賛同

当社では、2022年TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）に賛同。TCFDが提言する「ガバナンス、戦略、リスク管理、指標と目標」の情報開示フレームワークに基づき情報開示に努めます。

株主のみなさまとの対話を促進

情報開示に努め、双方向の対話を行います。

イズミグループ業績概要



※1 「収益認識に関する会計基準」等を適用前

◆株主優待制度による利益還元

イズミでは、利益成長に応じた配当金に加え、株主優待券やギフト券の贈呈を行っています。また長期保有特典制度を導入しています。

ご所有株式数	一回当たりの贈呈額	
	株主ご優待券の場合	ギフト券の場合
100株以上	20枚　(2,000円相当)	500円相当
200株以上	30枚　(3,000円相当)	
300株以上	40枚　(4,000円相当)	
400株以上	50枚　(5,000円相当)	
500株以上	60枚　(6,000円相当)	
1,000株以上	100枚　(10,000円相当)	2,000円相当
2,000株以上	200枚　(20,000円相当)	
3,000株以上	300枚　(30,000円相当)	
4,000株以上	400枚　(40,000円相当)	
5,000株以上	500枚　(50,000円相当)	
6,000株以上	600枚　(60,000円相当)	
8,000株以上	800枚　(80,000円相当)	
10,000株以上	1,000枚 (100,000円相当)	

■長期保有特典制度

ご所有株式数	自社商品券の場合	ギフト券の場合
300株以上	2,000円相当	500円相当
1,000株以上	4,000円相当	1,000円相当

■泉美術館ご招待券の贈呈

上記とは別に、泉美術館ご招待券を贈呈しています。

※「株主ご優待券」は、1,000円以上お買い上げにつき、1,000円ごとに各1枚(100円割引券)をご使用いただけます。「株主ご優待券」「自社商品券」の対象店舗はゆめタウン・ゆめマート・ゆめシティ・LECT・ゆめテラスの各店舗、(株)ユアーズ・(株)デイリーマート・(有)はなわの店舗等。
※「ギフト券」は全国でご利用いただけるものを贈呈いたします。
※長期保有特典制度では、現行制度で株主優待券をお選びの方には自社商品券、ギフト券をお選びの方にはギフト券を年1回贈呈します。

◆IRコミュニケーションを推進

イズミでは経営企画部が中心となり、定期的に経営戦略や業績に関して株主・投資家のみなさまとの対話を実施しています。年2回アナリスト・機関投資家向けの決算説明会を実施している他、個人投資家向け会社説明会を開催するとともに証券会社が企画する個人投資家セミナーへ参加しています。

■ホームページへの掲載情報

月次売上、決算資料、業績推移、株式情報、株主総会、IRカレンダー、決算公告、IR information(English)、ニュースリリース、株価情報

■IR情報に関するURL

https://www.izumi.co.jp/corp/ir/



半期ごとに株主通信を発行



財務情報と非財務情報を伝える統合報告書

企業統治の透明性を強化

常に公正かつ迅速な意思決定を行います。

1)基本的な考え方

お客さま満足の実現を通じて企業価値の最大化を図ることで、株主やお取引先様、社員などのステークホルダーのみなさまのご期待にお応えしたいと考えております。同時に、高い倫理観をもって社会的責任を果たしつつ、地域社会へ貢献します。

このような理念のもと、経営組織や諸制度を整備し透明性・公正性を高めることを重要な課題の一つと位置づけております。そして、取締役会の監督機能の強化、財務の信頼性の確保、業務の有効性と効率性の向上に取り組んでいます。

2)業務執行、監査等の状況

当社は監査役会設置会社であり、取締役8名(うち社外取締役3名)ならびに監査役3名(うち社外監査役2名)で構成し、取締役会は原則として月1回開催し、充実した審議と取締役の職務執行に関する監督が行われています。取締役会においては、監査役に対して取締役会議案に対する客観的な意見を求めると共に、監査役が取締役の意思決定および業務執行状況の監査をしています。

また、取締役8名の中から代表取締役1名を選定し、代表取締役の下に執行役員13名を選任して業務執行にあたらせております。取締役(社外取締役を除く)で構成する経営会議および取締役(社外取締役を除く)と執行役員で構成する本部長会議を原則毎週開催し、業務執行について機動的な意思決定を行っています。当社グループ会社の経営状況につきましては、当社社長とグループ会社社長との間において3カ月に1回の報告を義務づけ、また、当社グループ経営本部長とグループ会社社長との間で毎月1回の経営課題に係る対応策を協議することを義務づけています。

さらに、適正かつ効率的に経営監視機能を行うために、4名の顧問弁護士による経営に関する助言・指導をいただいています。

3)内部統制システム・リスク管理体制の整備状況

内部統制システム・リスク管理体制の整備状況につきましては、次のとおりです。

■各事業本部とは独立した経営管理部が主管となってコンプライアンス・リスク管理委員会を毎月1回開催し、当社各部門ならびにグループ会社から選出されたコンプライアンス・リスク管理委員出席の下、当社グループ全体のコンプライアンス教育およびリスク管理のモニタリング活動報告について審議しています。当委員会の議事内容については、取締役および監査役に報告しています。

■イズミグループ行動憲章を定め、当社およびグループ会社の取締役・従業員の行動規範として、事業活動における法令遵守に努めています。また、法令遵守の徹底・意識向上のため「イズミホットライン」(内部通報制度)を設置し、当社およびグループ会社からのさまざまなリスク発生の未然防止に努めています。

■事業活動において生じたさまざまなリスクへの対応については、お客さまの安全確保、被害の最小化を主たる目的として、全社連絡体制を整備して対処しており、地震等の災害時においては直ちに緊急対策本部(本部長は代表取締役社長)が設置される仕組みとなっています。

業務の執行・監査および内部統制の仕組み

